

第 13 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST 学会） 開催報告

2023 年 6 月 23-24 日に第 13 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST 学会）を仙台国際センターにて開催致しましたのでご報告申し上げます。本会の開催にあたり、会員ならびに関係者の皆様には格別のご指導とご厚情を賜り誠にありがとうございました。あらためて厚く御礼申し上げます。

本大会は現地開催のみといたしました。2 日間にわたり約 380 名のご参加をいただき、計 54 セッション・203 演題のご発表と活発な討論が行われました。著名な講師の先生方による特別講演、教育研修講演、共催セミナー等では今後の診療に役立つ貴重なご講演をいただきました。MIST 支部企画シンポジウムでは各地域の特色を活かした内容で充実したディスカッションが行われました。SMISS-MIST 国際シンポジウムも同時開催され、日本、アジア、米国のシンポジストによる最先端の低侵襲脊椎治療についてご講演頂きました。また本会特別企画の“特集”として、各領域のトップランナーの先生方に MIST の基礎から最新治療までを分かり易くご講演頂きました。主題としては「従来手術の低侵襲化への工夫」、「DX 最近の進歩と課題」、「骨脆弱性克服への挑戦」などのテーマで数多くの演題発表がありました。さらに若手 Award セッションでは MIST の明日を担う若手医師の先生方にご発表を頂きました。コメディカル・シンポジウムでは、全国各地から第一線でご活躍の看護師・臨床工学技士などに御参集いただき大変有意義な情報交換ができました。

5 月初旬に新型コロナウイルス感染症が 5 類に引き下げられたことから、初日の夕方にはコロナ前と同様な全員懇親会を開催いたしました。皆様と一緒に地酒やご当地グルメを楽しみながら face-to-face で懇親を深めることができたと思います。

本学会の閉会後には秋保温泉「佐勘」に移動して、症例検討会（本音会）を行いました。年齢や学閥を越えた和やかな雰囲気、大変ハイレベルで教訓的な症例提示と討論がなされました。コロナ禍も一段落し、温泉につかりながら久しぶりに皆さんと親好を深めることができたと感じております。

事前準備ならびに当日の運営にあたりましては、不行き届きの点もあったかとは存じますが、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

第 13 回最小侵襲脊椎治療学会（MIST 学会）

会 長 小澤 浩司

